

総合交通メールマガジン 第17号

平成21年12月4日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

目次



Topics

- ・「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の取組について
(奈良県橿原市、国土交通省 政策統括官付 参事官室)



地域の取組紹介

- ・えちぜん鉄道株式会社
- ・愛知県新城市



Information

- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



編集後記

Topics



「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の取組について

(奈良県橿原市、国土交通省 政策統括官付 参事官室)

参事官室では、人の移動に着目し、出発地から目的地に至るまでの総合的な交通に関する施策を推進しています。今年度から「モビリティサポートの推進」施策を創設し、歩行者が必要に応じ移動に関する情報を入手し、快適・安心かつ安全に移動して積極的に活動できる環境を構築することを目的に、ユビキタス技術等を活用したモビリティサポートサービスの普及展開を推進しています。

それに伴い、当室では、モビリティサポートサービスの普及展開を目指した取組に対して支援する「モビリティサポートモデル事業」を実施しています。今年度はモデル事業の実施箇所を7箇所選定しており、本号では奈良県橿原市の取組を紹介致します。

同市に位置する重要伝統的建造物群保存地区（以下、「重伝建地区」という。）「今井町」は、東西600メートル、南北310メートル、伝統的な町屋が500軒以上も残るといふ奇跡の町です。

今井町内の道路については、見通しのきくものは少なく、一度屈折させてあるものがほとんどであり、観光客が道に迷いやすいという弊害があります。また、今井町は、他の重伝建地区のように観光地化されておらず、ほとんどの家に今も住民が生活を営んでいるという側面も有しています。

このようなことから、より身近にかつ簡単に、観光客が地域住民やボランティアガイドとコミュニケーションを深めながら、より詳しい情報を入手することができる観光システムの構築に向けて、約2ヶ月間（10月9日から12月13日まで）歩行者の移動支援サービスの提供を行っています。

約2ヶ月間のサービス提供を踏まえ、ユビキタス技術が持っている性質を活かして地元住民と観光客が良質な距離を保った交流を促進するという新しい観光モデルの構築のため、その克服すべき課題や問題点の抽出と精査及び将来ビジョンを提案することが期待されています。



UC（ユビキタスコミュニケーター）の
トップ画面



移動支援サービスの体験風景

【奈良県橿原市の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0911kashihara-nara.pdf>

国土交通省「モビリティサポートの推進」サイトホームページ：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000023.html

今井町ユビキタス計画協議会ホームページ：

<http://www.city.kashihara.nara.jp/ubiquitous/imai.html>

奈良県橿原市ホームページ：<http://www.city.kashihara.nara.jp/>

地域の取組紹介

えちぜん鉄道株式会社

えちぜん鉄道株式会社は、福井県内で勝山永平寺線、三国芦原（あわら）線の2線を経営する第三セクターの鉄道会社です。同社は、その前身の鉄道事業者が2度の事故により廃線を決めた鉄道を、沿線住民の熱い思いにより運行再開にこぎつけました。

同社は、沿線住民が主役の鉄道であることを明確に位置づけ、地域との共生を第一義的に掲げるとともにサービス業としての鉄道事業を目指しています。そのような企業理念に基づいた、利便性の向上、サービスの向上、沿線地域との連携等、数多くの地域密着型の取組に関し、「顧客様満足度日本一の鉄道事業めざして」と題して紹介頂きます。



冬晴れのえちぜん鉄道



アテンダントの乗務風景

【えちぜん鉄道株式会社の取組概要についてはこちら↓】

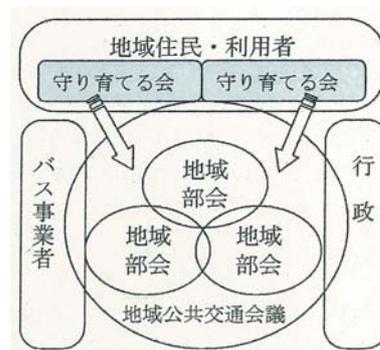
<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0911echizen.pdf>

えちぜん鉄道株式会社ホームページ：<http://www.echizen-tetudo.co.jp/>

愛知県新城市

利用者、住民主体の組織を活用して、公共交通の活性化に取り組んでいる事例として、愛知県新城市より、「新城市における公共交通活性化の取組—路線を守り育てる会—」について紹介頂きます。

愛知県新城市では、バス路線を協議する場は従来のような全市的な組織だけではなく、ひとつのバス路線に限定した利用者、住民が参加する組織が必要であるとの結論に至り、地域公共交通会議の下部組織として「路線を守り育てる会」が組織されています（現在3組織）。特に積極的な活動を行っている会では、その活動効果として、顕著なバス利用者数の増加が見られます。



地域公共交通会議の検討体制

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて35件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



今回の「総合交通メールマガジン」では、地域の取組紹介として、えちぜん鉄道株式会社から、「顧客様満足度日本一」という明確な目標を掲げ、おもてなしの心でサービス向上に努めている取組を紹介頂きました。愛知県新城市からは、バス路線を協議する場として、利用者、住民主体の組織である「路線を守り育てる会」を中心に紹介頂きました。業務等のご参考にして頂ければ幸いです。

また、当室が実施している「モビリティサポートモデル事業」の実施箇所の取組として、奈良県橿原市の取組について紹介致しました。同市今井町では、12月13日（日）まで歩行者の移動支援サービスの提供を行っていますので、近隣の方々をはじめ、体験頂ければと思います。

（T. K.）

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 小林、近藤

TEL：03-5253-8111（内線53-113、53-117）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

